

俳句の部

菩提寺の柚の二つを湯に浮かせ

中川 巖

六百年繋ぐ命や新松子

林 日出明

釈迦おろす二浪の君へ蜘蛛の糸

池田 哲雄

コスモスや流人の墓は石一つ

石川 壽子

文化の日父の使ひし肥後の守

小澤 恵美子

秋の雨休まず母は針仕事

佐々 幸子

千本の花の回廊舟下り

中上 美代子

木の実落つ子の弁当のどまん中

根本 光子

参道に変はる農道秋祭

宮島 沙映

始まるも終わるも知らず蟬しぐれ

横路 裕子

住み古りてここは江戸川雲の峰

村田 晴子

紫陽花や雨降る午後の長電話

小瀬 美代子

金木犀匂いが先に届き来る

蓮池 聖子

メール打つ指に残れる蜜柑の香

加藤 嘉子

赤トンボ群れとぶ先に故郷あり

坂本 榮

水面埋めなほ延々と花吹雪

梅澤 恵子

夫に似る人にときめく秋桜

栃本 貞子

料理屋の盛り塩眩し梅雨の明

十河 正雄

菖蒲田へ紛れ込む風色を持つ

梅原 滋

新川や五段跳ねたるぼらの技

小川 静夫

手の平の皺の中にも薄暑かな

岡田 俊子

大人の部

ひまわりが空にむかって話してる

二之江第二小学校
峯崎 悠里

ライバルと対決するぞカブト虫

二之江第二小学校
山田 希海

夕焼けがぼくに夜空をつれてくる

二之江第二小学校
北見 真大

スイカわりカいっぱいぼうをふる

二之江第二小学校
ヴィエイラ ジョシユア

海鳥が夏をはこんでくるんだよ

二之江第二小学校
佐々木 みのり

夕焼けが私のうしろついてくる

二之江第二小学校
高橋 心

空に散る七色星の花火かな

二之江第二小学校
小林 明香里

古川にならぶ紫陽花花の道

二之江第二小学校
武藤 紬楽

日がくれてかあさん探す虫の声

二之江第二小学校
須藤 瑛真

あの星に手がとどきそう夏の夜

二之江第二小学校
石橋 咲月

子どもの部

おたまじゃくし親子の会話掬いたし

若狭 菊英

ゆきずりの人と誉め合ふ花菖蒲

田村 美弥

また一つ思ひ出となる桜かな

鈴木 静江

コスモスの風を掴まん赤子の手

大日方 玉枝

四季の道ペダルに軽ろし初夏の風

田中 伸子

新川の流れゆるやか花見船

山崎 澄子

越えてきし此の人の世や熱き夜や

石川 哲郎

水門の孤をなす河口初日の出

中村 浩美

吾子乗せてペダル軽やか鳳仙花

石倉 明子

リハビリの瑠璃に射し込む残暑かな

栗山 富士子